

平成16年度 バランスシート等財務諸表

1	普通会計バランスシート	1
2	普通会計行政コスト計算書	3
3	千葉県全体のバランスシート	6
4	連結バランスシート	7
5	施設別バランスシート・行政コスト計算書（生涯大学校）	9
	資料	11

I 普通会計バランスシート

県が経営資源として保有している資産の状況と、その資産を形成するために用いた財源の内容を示したものです。（→詳細は資料11ページ）

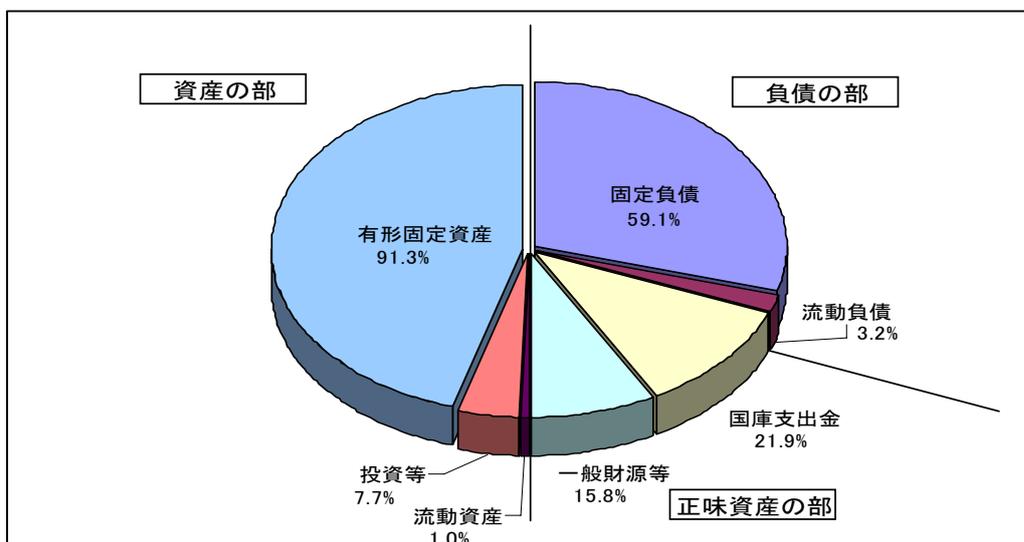
【普通会計バランスシート】

（平成17年3月31日現在）

（単位：億円）

借 方		貸 方	
〔資産の部〕		〔負債の部〕	
1 有形固定資産	41,545	1 固定負債	26,872
(県が整備した道路、公園、学校など)		(地方債など)	
2 投資等	3,506	2 流動負債	1,442
(出資金、貸付金、基金など)		(地方債のうち翌年度償還予定額など)	
3 流動資産	453		
(現金・預金など)		負債合計	28,314
		〔正味資産の部〕	
		1 国庫支出金	9,979
		2 一般財源等	7,211
		正味資産合計	17,190
資産合計	45,504	負債・正味資産合計	45,504

（資産、負債・正味資産の構成割合）



- ・資産総額は4兆5,504億円で、その91%を有形固定資産が占めています。
- ・資産形成に要した資金のうち、地方債のように将来世代に負担を求める負債は2兆8,314億円で62%を占め、国庫支出金や一般財源などで形成している正味資産は1兆7,190億円で38%を占めています。

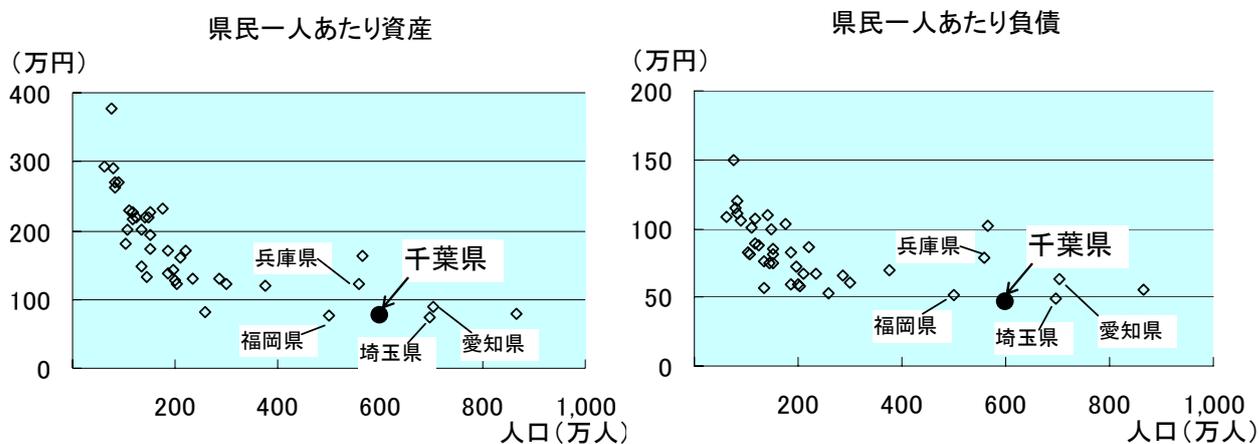
・前年度末のバランスシートと比較すると、

- ①資産については、投資的経費の抑制が続く一方、有形固定資産の減価償却が進んだため、平成11年度のバランスシート作成後、初めて減少に転じ、0.5%の減となりました。
- ②負債については、通常の建設地方債は投資的経費を削減することにより厳しく抑制しているものの、国の地方財政対策により、地方交付税の振替財源である臨時財政対策債や減税補てん債について多額の発行を余儀なくされたため2.7%の増となりました。
- ③正味資産については、(資産－負債) で計算されるものであり、資産が減少に転じる一方、負債が増となったことにより、5.3%の減となりました。

【県民1人当たりバランスシート】

年度	資産		負債	
	千葉県	全国平均	千葉県	全国平均
15年度	76万2千円	176万9千円	46万円	81万6千円
16年度	75万7千円	—	47万1千円	—

全国平均は、総務省方式を採用してバランスシートを作成・公表している団体の単純平均です。



- ・人口の多い道府県ほど資産・負債とも低い値となる傾向があります。
- ・千葉県は資産、負債ともに全国平均に比べ低い値にありますが、特に負債については全国で最も低い水準にあります。

II 普通会計行政コスト計算書

現金主義による決算に加えて、減価償却費や退職給与引当金繰入など、発生主義に基づく非現金コストを含めた地方公共団体の年間活動実態を明らかにするものです。

(→詳細は資料14ページ)

(1) 性質別行政コスト及び収入項目の状況

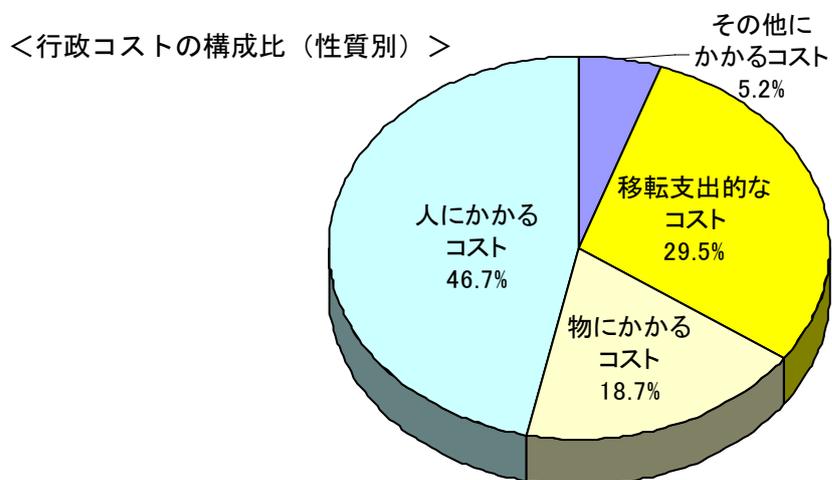
(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで) (単位：億円、%)

[行政コスト]

区分	金額	構成比
1 人にかかるコスト (人件費など)	5,690	46.7
2 物にかかるコスト (維持補修費、減価償却費など)	2,283	18.7
3 移転支出的なコスト (補助金など)	3,595	29.5
4 その他にかかるコスト (公債費のうち利子分など)	628	5.1
合計	12,196	100.0

[収入項目]

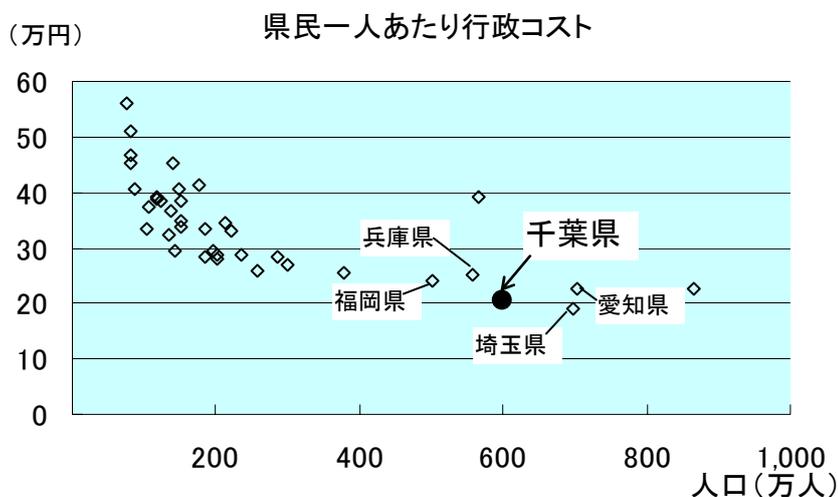
使用料・手数料等	706	5.8
国庫支出金	1,737	14.2
一般財源等	8,433	69.1



- ・「人にかかるコスト」が大きな割合を占めていますが、前年度と比較すると職員定数の削減等により 3.3%の減となっています。
- ・内部管理経費の節減など、行財政改革の取り組みにより、「物にかかるコスト」「移転支出的なコスト」についても抑制傾向となっています。
- ・この結果、行政コスト全体では前年度に比べ 1.6%の減となっています。

【県民 1 人当り行政コスト】

性質別	15年度	16年度	全国平均 (15年度)
人にかかるコスト	9万8千円 (47.5%)	9万5千円 (46.7%)	13万1千円 (38.8%)
物にかかるコスト	3万9千円 (18.6%)	3万8千円 (18.7%)	9万2千円 (27.2%)
移転支出的なコスト	6万円 (29.0%)	6万円 (29.5%)	9万7千円 (28.7%)
その他のコスト	1万円 (4.9%)	1万円 (5.1%)	1万8千円 (5.3%)
行政コスト合計	20万7千円 (100%)	20万3千円 (100%)	33万8千円 (100%)



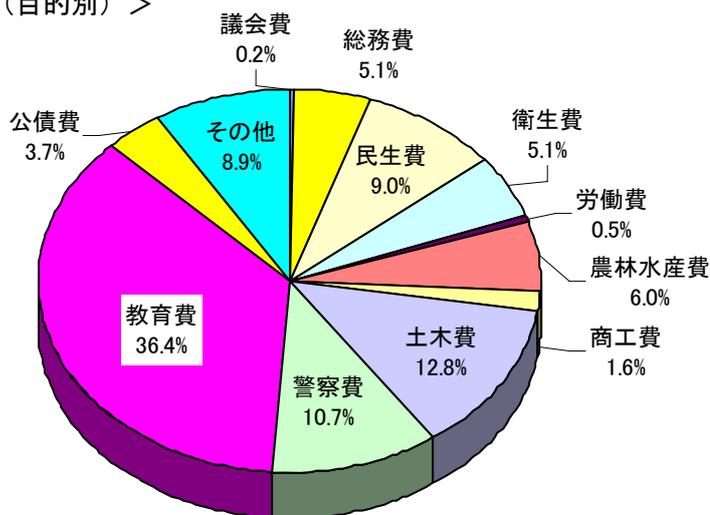
- ・人口の多い道府県ほど低い値となる傾向があります。
- ・千葉県は全国平均に比べ低い水準にあります。

(2) 目的別行政コストの状況 (平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

(単位：億円、%)

区分	金額	構成比
議会費	28	0.2
総務費	618	5.1
民生費	1,098	9.0
衛生費	627	5.1
労働費	61	0.5
農林水産費	733	6.0
商工費	196	1.6
土木費	1,562	12.8
警察費	1,307	10.7
教育費	4,435	36.4
災害復旧費	23	0.2
公債費	447	3.7
税交付金	891	7.3
不納欠損金	170	1.4
合計	12,196	100.0

<行政コストの構成比(目的別)>



- ・目的別では、教育費が4,435億円と36.4%を占めており、これに土木費、警察費、民生費が続いています。

Ⅲ 千葉県全体のバランスシート

普通会計バランスシートに県立病院、水道局や企業庁といった公営企業会計等を加え、県全体の資産、負債等の状況を示したものです。

千葉県の場合、普通会計に以下の7つの特別会計を加えています。

(→詳細は資料17ページ)

〔 港湾整備事業会計、流域下水道事業会計、公営競技事業会計、県立病院（病院事業会計）、水道局（上水道事業会計）、企業庁（土地造成整備事業会計・工業用水道事業会計） 〕

【千葉県全体のバランスシート】

(平成17年3月31日現在)

(単位：億円)

借 方		貸 方	
〔資産の部〕		〔負債の部〕	
1 有形固定資産	64,227	1 固定負債	33,402
2 投資等	3,926	2 流動負債	8,082
3 流動資産	1,908	負債合計	41,484
4 繰延勘定	8	〔正味資産の部〕	
		正味資産合計	28,585
資産合計	70,069	負債・正味資産合計	70,069

※ 会計間の入り繰りを調整した後の数値です。

- ・ 県全体の資産総額は7兆69億円で、そのほとんどが土地や建物といった有形固定資産です。
- ・ 県全体の地方債等の固定負債は3兆3,402億円で、資産形成に要した経費の47.7%を占め、また、流動負債を合わせた負債全体では59.2%を占めています。
- ・ 土地造成整備事業会計において、千葉北部地区ほか4地区で、工事完了区域等に係る精算を行ったことなどにより、資産、負債ともに減少しています。

IV 連結バランスシート

本年度は新たに、県と連携協力して行政サービスを実施している、一部事務組合・地方三公社及び第三セクターを加えた、連結バランスシート（試案）を作成しました。

（→詳細は資料19ページ）

【千葉県の連結バランスシート】

（平成17年3月31日現在）

（単位：億円）

借 方		貸 方	
〔資産の部〕		〔負債の部〕	
1 有形固定資産	65,473	1 固定負債	35,165
2 投資等	4,686	2 流動負債	8,503
3 流動資産	3,018	負債合計	43,668
4 繰延勘定	31	〔資産・負債差額の部〕	
		資産・負債差額合計	29,540
資産合計	73,208	負債及び資産・負債差額合計	73,208

(1) 作成の基準

総務省の「地方公共団体のバランスシートの試行について」（平成17年9月）で示された基準に基づいて作成しました。

(2) 連結の範囲

連結の範囲は本県を構成団体とする一部事務組合、本県が設立した地方三公社、及び本県が資本金、基本金その他これらに準ずるものの2分の1以上を出資している民法法人（これに準ずるものを含む）とし、具体的には以下の27団体としています。

名称	資本金等 (百万円)	出資割合 (%)	業務の内容
(一部事務組合)			
千葉県競馬組合	—	—	競馬競技（船橋競馬場）
北千葉広域水道企業団	—	—	水道用水供給事業
君津広域水道企業団	—	—	水道用水供給事業
(地方三公社)			
千葉県土地開発公社	10	100.0	公有地の取得造成、処分等
千葉県道路公社	17,152	87.5	有料道路の建設、管理等
千葉県住宅供給公社	10	100.0	住宅供給、宅地分譲

名称	資本金等 (百万円)	出資割合 (%)	業務の内容
(出資法人)			
(財)千葉県史料研究財団	300	100.0	史資料の調査研究及びその成果の公表
(財)千葉県消防協会	109	55.0	消防職員・団員の資質向上等
(財)千葉県文化振興財団	574	52.3	文化会館管理運営、各種文化事業等
(財)ちば国際コンベンションビューロー	2,135	60.9	コンベンション誘致・開催支援等
(財)かずさディー・エヌ・エー研究所	4,818	77.8	DNA構造の解析研究等
(社福)千葉県社会福祉事業団	10	100.0	袖ヶ浦福祉センター等の管理運営
(社福)千葉県身体障害者福祉事業団	10	100.0	千葉リハビリセンター等の管理運営
(財)千葉県福祉ふれあい財団	151	55.2	こどもの国、生涯大学校等の管理運営
(財)千葉県青少年女性協会	1	100.0	県民会議事業、女性センター運営事業
(財)千葉県動物保護管理協会	280	50.0	動物保護管理施設業務の受託
(財)千葉県産業振興センター	964	54.0	産業振興に係る総合的支援等
(財)千葉県観光公社	1	100.0	観光レクリエーション施設の管理運営等
(財)千葉県漁業振興基金	15,701	52.0	漁場環境の維持保全、漁業振興等
(財)千葉県水産振興公社	200	100.0	水産動植物の生産・育成・放流等
(財)千葉県建設技術センター	316	63.3	土木工事設計積算、建設材料試験等
(財)千葉県まちづくり公社	23	100.0	都市計画、県営住宅・公園等管理
(財)千葉県下水道公社	367	54.5	下水道施設管理・建設等
(財)千葉県文化財センター	3	100.0	埋蔵文化財の調査研究
(財)千葉県社会教育施設管理財団	10	100.0	社会教育施設・文化施設の管理運営
(財)千葉県スポーツ振興財団	1,157	51.8	スポーツ施設の管理運営等
(財)千葉県暴力団追放県民会議	627	63.8	暴力団追放研修事業等

注1) (財)は財団法人、(社福)は社会福祉法人

2) 一部事務組合については、経費負担割合(競馬組合13分の8、北千葉広域水道企業団42.7%、君津広域水道企業団29.2%)で比例連結を行っている。

3) (財)千葉県文化財センターは平成17年9月1日から(財)千葉県教育振興財団に組織改編

(3) 資産、負債の状況

- ・連結後の資産総額は7兆3,208億円、負債総額は4兆3,668億円で、資産が負債を2兆9,540億円上回っています。
- ・資産の大半は県全体のバランスシートと同様に有形固定資産(6兆5,473億円)となっています。
- ・負債のほとんどは県の地方債残高となっています。

V 施設別バランスシート・行政コスト計算書

県が設置した公の施設について、収入・支出の状況を県民にわかりやすく説明するとともに、施設の経営状況の把握を行うため、平成16年度は生涯大学校をモデルに施設別のバランスシート・行政コスト計算書を作成しました。（→詳細は資料24ページ）

【生涯大学校のバランスシート】

（平成17年3月31日現在）

（単位：百万円）

借 方		貸 方	
〔資産の部〕		〔負債の部〕	
有形固定資産	1,448	固定負債	1,147
		流動負債	78
		〔正味資産の部〕	
		資産－負債	223
資産合計	1,448	負債・正味資産合計	1,448

資産・有形固定資産：土地、建物等の保有資産額

負債・固定負債：地方債の借入残額、退職引当金など

・流動負債：地方債の翌年度償還予定額（元金）など

【生涯大学校の行政コスト計算書】（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）

区分		金額	構成比(%)
1	人にかかるコスト	268,971千円	56.5
2	物にかかるコスト	145,737千円	30.6
3	その他にかかるコスト	61,495千円	12.9
行政コスト a		476,203千円	100.0
減価償却費・公債費を除く行政コスト b		406,820千円	85.4
財源内訳	使用料・手数料	50,490千円	10.6
	国庫支出金等	46,547千円	9.8
	一般財源	379,166千円	79.6

利用者数	①	3,556人
利用者1人当たりにかかるコスト	(a/①)	133,915円
うち施設維持管理費	(b/①)	114,404円

- ・昨年度までに試算した博物館やスポーツ施設と比べ、人にかかるコストの割合が高くなっている一方、物にかかるコストの割合は低くなっています。
- ・利用者1人当たりにかかるコストは約13万4千円で、そのうち10.6%を利用料収入、9.8%を国庫支出金などの特定財源、79.6%を一般財源などでまかっています。

(参考) 生涯大学校の概要

[目的]

高齢者が、新しい知識を身につけ、学習の成果を地域活動に役立てるなど、社会参加による生きがいの高揚に資するため、身近に学習の機会を提供する。

[所在地等]

京葉学園（千葉市）	定員330人（ほか通信課程500、専攻課程440）
東葛飾学園浅間台校舎（松戸市）	定員240人（ほか専攻課程50）
東葛飾学園江戸川台校舎（流山市）	定員280人（ほか専攻課程50）
東総学園（銚子市）	定員195人
外房学園（茂原市）	定員195人
南房学園（館山市）	定員195人

[授業料]

一般課程 年額18,000円、専攻課程 年額8,000円、通信課程 年額 4,000円

[管理運営委託先]

財団法人千葉県福祉ふれあい財団

※平成18年度からは指定管理者制に移行